

2018 年度（公財）コープともしびボランティア振興財団
ボランティア活動助成

活動および会計報告書

◇2018 年度活動および会計報告書について

2018 年度「活動および会計報告書」は、2019 年 3 月末で集計後 4 月に提出してください。報告書類は 1 年間大切に保管し、必要に応じてご記入ください。

◇提出期間

2019 年 4 月 1 日(月)～2019 年 4 月 10 日(水)

◇提出書類と記入方法

I 必ず提出する報告書

1) 様式①2018 年度活動報告書

報告書内容について、事務局より問い合わせをさせていただく場合がありますので、必ず連絡の取れる電話番号(携帯など)を記載してください。

2) 様式②2018 年度活動のふりかえり

3) 様式③2018 年度活動記録

4) 様式④2018 年度ともしび財団助成金使途報告書

当財団助成金の使途を明確にご記入ください。

5) 様式⑤2018 年度グループ会計報告書

2018 年度のグループ全体収支をご記入ください。

6) 様式⑥2018 年度会計報告書【領収証貼付用紙】

1. 領収証は費目別にし、上記報告書の【領収証貼付用紙】にお貼りください。

2. 領収証は、当財団助成金使用分のみをご提出ください。

3. 領収証は、本来支払われるべき発行元に限りです。

4. 会計ノートや通帳のコピーの提出は受けません。

領収証は、必ず「領収証貼付用紙」に、重ねずにお貼りください。

5. 「注意事項」を必ずご確認ください。

II 必要なグループのみ提出する報告書

様式⑦2018 年度講座・研修報告書

様式⑧2018 年度書籍・備品購入報告書

◇注意事項

1. 事前のご相談がなく報告と予算に大幅な差異あったり、対象外経費などの計上がある会計報告の場合、助成金をご返金いただくことがあります。
2. 提出いただいた報告書類は返却いたしません。又、一度提出いただいた報告書の差し替えはできません。
3. 助成期間中、活動が中断する事態が発生したり、法人格を取得した場合は、速やかに事務局まで、ご連絡ください。助成金をご返金いただく場合があります。
4. 報告書は 5 月の市民活動交流会時にお渡しするクリアファイルに入れてご提出ください。
5. 社会的ルールに反する行為が発覚した場合助成金をご返金いただく場合があります。
6. 事務局にて検算の結果、助成金の返金額が変更になる場合があります。

◇提出先

提出は郵送でお願いします。

〒658-0081

神戸市東灘区田中町 5 丁目 3-20

生活文化センター西館 2 階

[Tel:078-412-3930](tel:078-412-3930) Fax:078-412-3871

(公財)コープともしびボランティア振興財団

(開館日時月～金 10:00～17:00 祝日除く)

※封筒の表書きに**報告書類**と明記してください。

2018 年度対象経費表

- ①領収証がないものは対象にはなりません。(納品書、申込書などは不可)
- ②助成期間終了後に、報告書に添付する領収証は原本を提出してください。
レシート又は発行者(店舗など)の印字・押印ならびに当該年度(2018年4月1日～2019年3月31日)の日付があるものに限りです。
- ③発行人が個人のものとは不可(講師謝礼、市民活動交流会参加の交通費のみ可)
- ④提出いただく領収証は当財団の助成対象事業のために使用したものに限りです。
- ⑤領収証についての注意事項(P8・様式⑥記入例)を厳守してください。

区分	内容(例)
材料費	活動に必要な材料費 ※ただし、新聞・書籍代(CD/DVD・楽譜含む)は上限 2 万円
事務消耗品費	事務用品(ノート、鉛筆、封筒、用紙など) 写真代(使用目的の記載が必要) 消耗品(ゴミ袋・ラップなど)
印刷製本費・ 通信費	パンフレットやチラシ作成、会報などの印刷費用 切手・ハガキ・宅配便代(メンバー間での連絡用を除く。使用目的の記載必要)
学 習 費 (上限 3 万円)	交通費を除く、講座・研修の講師謝金・研修参加費 ※グループメンバーに支払われる講師謝金は対象外
会 場 費	施設利用料
そ の 他	5 月開催「市民活動交流会」参加交通費(1 グループ 1 名まで可能) ※10 月～11 月の申請説明会参加の交通費は対象外 備品(総額上限は 5 万円) ※単品 1 万円以上の備品は様式⑧を記入のこと

対象外経費

- ・人件費(講師謝礼のみ対象)
- ・旅費交通費(公共交通機関交通費、高速料金、駐車場料金、ガソリン代)、運搬費用
- ・ボランティア保険料
- ・地代、家賃、事務所費用、水道光熱費、借地代
- ・茶菓子代、飲食費、食材費、検食代、景品代、おみやげ代
- ・インターネットプロバイダー費、パソコンを設置する際の人件費
- ・電話代(主たる活動が電話相談である場合のみ申請可能)
- ・寄付金(他者・他団体に対する寄付金)、資金援助、加盟するネットワークへの会費・出店料
- ・楽器(付属品も含む)、衣装、クリーニング
- ・修理代(当財団助成金で購入した備品のみ)

※個人に帰属するもの(プレゼント、持ち帰り品を含む)は対象外です。

※他団体からの助成金と用途が重複しているものは対象外です。

※貸会場の備品や設備となるものは対象外です。

2018 年度活動報告書

グループ名	ひょうご里山の会	年間活動回数	36 回
ふりがな	ともしび ひろこ		
代表者氏名	ともしび 博子	メールアドレス: hiroko-tomoshibi@gmail.com	
代表者自宅住所 電話・FAX	〒658-0081 神戸市東灘区田中町1丁目〇—△—□ TEL:078-412-3930 FAX:078-412-3871 携帯:090-△△△-0000		
担当者連絡先 〔代表者と異なる 場合のみ記入〕	担当者名(田中 一郎) 〒658-0047 神戸市東灘区〇△町2丁目◇—〇—△ TEL:078-412-〇〇〇〇 FAX:078-412-〇〇〇〇 携帯:090-◇◇◇-0000	メールアドレス: ichiro-tomoshibi@gmail.com	

□2018 年度活動写真貼付欄 (空スペースに、写真についてのコメントをお願いします)



2018 年 10 月 14 日(土)にセイタカアワダチソウの除草作業を行った。
親子の参加を含め、参加者は 53 名講師の指導を受けながら、刈り取った草をまとめ、地域の方が里山を楽しめるように、遊歩道の整備も行いました。
きれいになった広い場所で、お弁当を食べ、参加者同士で交流しました。

□主な活動内容

1. 里山の遊歩道の整備
倒木や立ち枯れ木を整理、登山道や作業道の補修、整備を実施。
地域の方が散策し、里山を楽しめるように遊歩道の整備を行う。
2. 環境学習の受入れや研修会を定期的開催
地域の小・中学校や高等学校の環境体験学習の受入れを行う。
地域の方だけでなく、ホームページなどで広報し、一般の方にも参加いただき、お花見会やゴミ拾い、自然観察会などを開催している
3. ボランティアメンバーの質の向上
メンバーの研修も積極的に行い、技術ならびに安全面での講習、知識を高める学習なども受けていただき、ボランティアメンバーの質の向上を常に心がけている。

記入者氏名 (ともしび 花子)

*活動の内容がわかる写真を必ず貼付してください。(返却できません)

*資料、チラシなどがあればご提出ください。

*写真は当財団の広報誌やホームページに使用させていただくことがあります。ご了承ください。

2018 年度活動のふりかえり

当財団の助成金は、市民の皆さまからお寄せいただいた賛助会費や寄付金で成り立っています。
助成金をより有効にお使いいただくために、以下の問いにお答えください。

1) 2018 年度の活動についてお聞きします。

① 当財団からの助成金は、貴グループのボランティア・市民活動にどのように役立ちましたか？

地域や対象者の変化など具体的にお書きください。

地域の方が入っていけなかった里山に登山道を作り、散策していただけるようになった。

倒木なども多く、危険なところも整備が進み、ヤマザクラやヤブウツギ、ヤマモモなどの花が咲き、地元の人にも喜ばれている。

環境学習の受け入れや自然体験会、観察会の参加者も増え、「こんな機会がなかったら地元の山を大切に思わなかったかもしれない。また参加したい」などの声をいただいている。

② 計画したが、できなかったことはありますか？ できなかった理由と改善策をお書きください。

予定していたイベントが悪天候のため、中止した。次年度は台風の時期を避け、計画したいと思う。

間伐材を利用した工作も企画していたが、ナラ枯れの発生に追われ実施できなかった。このナラ枯れは今後活動を続けていく上で、大きな課題だ。メンバーとともに粘り強く対応していく。

2) ボランティア活動の中で気づいた課題や対象者の声(ニーズ)を、3つ教えて下さい。

1. 安全面での指導の徹底が必要。

2. 自然観察会や植物の観察など、参加したいといわれる声が多い。新たに植物の資料などを作成し、参加者とともに学習する機会を増やしていく。

3. メンバーの高齢化が進んでいる。新しいメンバーの確保と、今いるメンバーでの作業の配分をどうするか

3) 2019 年度、特に力を入れたいことについてお書きください。

里山整備を継続して行っていく。

地元の小・中・高等学校の環境体験学習の受け入れを積極的に行い、里山を大切に思う気持ちを育てていけるよう継続的に活動を支援していく。

一般の方が里山に入っていけるように、イベントを開催し、安全に参加いただけるように注意点を伝えし、利用促進を図る。

様式④

記入例

グループ NO.

9 × × ×

2018 度ともしび財団助成金使途報告書

*領収証（レシート可）は原本に限ります。インターネットで購入した場合も必ず領収証が必要です。領収証の宛名はグループ名をお願いします。

2018 年度ともしび財団からの助成決定額をご記入ください。

*発行人が個人名となっている領収証は認められません。ただし、講師謝礼と交通費は例外とします。



*領収証は様式⑥に貼付してください。

ともしび財団助成金額

★ 98,000 円

【ともしび財団助成金 支出明細書】

費目	貼付領収証 (レシート) No.	支出明細	金額 (円)	費目別金額合計 (円)
①材料費 〔書籍は総額 2万円まで〕	①~⑤	チェーンソー 作業用ロープ(伐採木の片づけ時に使用) 植樹用看板 刈払機の替刃 1,500×2 自然観察ガイドポケット図鑑	14,000 9,100 8,000 3,000 1,500	35,600
②事務消耗品費	①~④	印刷用インク代 キヤノン BCI-351 4,500×2 封筒 10×8 枚 ファイル 100×20 ラミネートフィルム	9,000 80 2,000 1,000	12,080
③通信費 〔通信費、 印刷製本費〕	① ②	○△小・中学校参加案内郵送料 10 部 広報誌「○○の里山」印刷費 100 部	820 16,000	16,820
④学習費 〔学習費は総額 3万円まで〕	① ②	里山自然観察会講師謝礼 動力機使用講習	20,000 10,000	30,000
⑤会場費	①	○△センター会議室利用料	3,000	3,000
⑥その他 〔備品は総額 5万円まで〕	①	市民活動交流会参加費 神戸市バス 甲南町前⇄甲南山手駅 210×2	420	420
ともしび財団助成金からの支出合計				A 97,920 円

【残金がある場合のみ右記にご記入ください】 ⇒

残金

B 80 円

(*1)

(*1)残金が 1,000 円以上の場合はご返金ください。ご返金手続きについては 2019 年 5 月中旬までに案内をお送りします。なお、1,000 円未満の場合は返金不要です。2019 年 6 月以降、グループの資金としてご活用ください。

記入者氏名 (ともしび 花子)

2018 年度会計報告書

※ともしび財団からの助成金額を★印の欄にご記入ください。

※様式④A の金額をともしび財団からの支出合計の A 欄に、様式④B の残金がある場合は、支出合計の残金の B 欄にご記入ください。

(1)収入の部

費 目	金 額(円)	内 訳
①ともしび財団助成金	★ 98,000	ともしび財団からの助成金額
②他機関助成金	35,000	〇〇〇ボランティア基金 25,000 〇△社会福祉協議会助成金 10,000
③会費（メンバー会費）	20,000	1,000 円/年 × 20 名 = 20,000
④事業収入（活動による収入） 〔参加費、バザー収入、 グループへの謝金等〕	200,000 18,000	薪販売 200,000 参加費 300 円/1 回・人 × 60 = 18,000
⑤寄付	8,000	参加者より
⑥その他（委託費等）	0	
前年度繰越金	105,600	
合 計	C. 484,600	

(2)支出の部

費 目	金 額(円)	内 訳
ともしび財団助成金からの 支出合計	A. 97,920	←様式④A の金額
残金	B. 80	←様式④B の残金
		A+B=★ 残金がある場合のみ記入ください
上記以外の支出	281,300	ともしび助成金以外での支出の内訳を記入ください。 里山整備関係消耗品 145,000 植樹用苗木 107,000 通信費・交通費 17,800 運搬費 11,500
次年度繰越金	105,300	急なナラ枯れなどの対応のため繰越金が必要
合 計	C. 484,600	

記入者氏名（ ともしび 花子 ）

2018 年度会計報告書【領収証貼付用紙】

費目名		費目別合計金額	円
		用紙別小計金額	円

～注意事項～

この用紙に貼ったレシートの小計金額をお書きください

- 購入品内容や単価がわかるように、明細を記入してください。
- 講師謝礼領収証は、必ず講師の住所、氏名、所属、認印をお願いします。
- 助成対象項目以外の品を同時に購入されている場合には、助成対象項目に囲みを入れてください。
領収証(レシート可)の合計額がともしび財団助成金からの支出額と異なる場合には、ともしび財団助成金からの支出額を記入してください。
- 様式④の「貼付領収証(レシート)No.」と領収証が整合できるように、領収証 No.を必ずご記入ください。

〇〇書店 ①

2018年6月8日

ポケット図鑑	1,500円
週刊誌	300円
小説	1,200円
合計	3,000円

(うち、ともしび財団助成金 1,500円)

日本郵便株式会社 ②

2018年10月7日

郵送代 10通 82円

合計 820円

(〇〇小・中学校に案内状送付)

領収証 No.を記入ください。

助成金対象品を○で囲んでください。

使用目的を記入ください。

ともしび財団助成金からの支出額を記入してください。

- ともしび財団の助成金から支出した領収証(レシート)原本を、費目別に貼ってください。
- 領収証は、できるだけ重ねずにお貼りください。

会場費 3,000円

通信費 3,160円

事務消耗品費 12,080円

○△電器 ⑥	○◇店 ⑩
インク 9,000円	封筒 10円×8
ファイル 2,000円	
フィルム 1,000円	
合計 12,000円	合計 80円

領収証はできるだけ重ねないように貼ってください。

2018 年度講座・研修報告書

※様式④2018 年度ともしび財団助成金使途報告書に【講座・研修会参加費】または【講師謝金等】を報告したグループは、この用紙にご記入ください。(総額 3 万円まで)

□メンバーが参加した講座・研修会についての報告

年 月 日	講座・研修会名	主催者名	参加人数	参加費 (人/組)
18 年 6 月 15 日	動力機使用講習	□◇教育センター	5	2,000
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				

□申請者(グループ)が開催した講座・研修・学習会についての報告

年 月 日	講座・研修会名	講師名 (所属)	会 場 名	参加人数	参加費 (人/組)
18 年 8 月 21 日	工作教室	〇〇 太郎	〇〇の里山	32	300
18 年 月 日	自然観察会学習会	◇◇ 恭子	〇△センター	28	300
年 月 日					
年 月 日					
年 月 日					
年 月 日					
年 月 日					

*開催した講座・研修・学習会の参加資料 (チラシなど) がありましたら、添付してください。

記入者氏名 (ともしび 花子)

